

このたび、広島大学は医系科学研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用するテニュアトラック助教1名を国際公募します。

この公募により雇用する助教ポストは、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授の上位職へポストアップすることを可能とした新たなポストです。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

広島大学は、採用されたテニュアトラック助教に対して、スタートアップ支援経費を措置します。また、メンター教員の配置等により教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備しています。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標 (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>) にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2020年8月1日

関係各位

広島大学大学院医系科学研究科長
大段 秀 樹 (公印省略)

生体機能分子動態学 助教候補者の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

本学は、2014年度にスーパーグローバル大学創成支援のタイプA (トップ型) 13大学の1つとして採択されました。教育力・研究力を両輪とした大学改革を推進しながら、グローバル人材を持続的に輩出し、知を創造する世界トップ100の大学となることを目指しております。

さて、この度広島大学大学院医系科学研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

本公募は、教育面では、薬学モデル・コアカリキュラムのうち、衛生薬学領域の教育を担い、これらに関する最先端の動向について幅広い学識を有する人材を求めています。また、研究面では、薬学分野全体で推進する「創薬・バイオマーカー拠点」において中核的な役割を果たすとともに、国内他分野や海外の研究者とも積極的に連携し、研究成果を国際的に発信できる人材を求めています。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属 (配属) 広島大学学術院 (大学院医系科学研究科)
2. 職名・人員 助教 1名
3. 採用予定年月日 2021年4月1日
4. 任期又は有期雇用契約期間 (テニュアトラック期間) 5年
広島大学のテニュアトラック制に関する規則に基づき、テニュアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニュアを付与するかどうかのテニュア審査を行い、これに合格すればテニュアを付与します。
テニュア審査は、中間審査及び最終審査により行います。なお、最終審査の結果、テニュアを付与しなかったときは、テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。
また、テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。
※テニュア審査基準の詳細については、お問い合わせください。
5. 専門分野 環境・衛生系薬学, 神経毒性学, オルガネラトキシコロジー

6. 担当科目等 教養教育科目：教養ゼミ 等
学部（専門教育科目）：衛生薬学Ⅰ，衛生薬学Ⅱ，衛生薬学Ⅲ，社会薬学実習 等
大学院（博士課程前期）：生体機能分子動態学特論，生体機能分子動態学特論演習，分子神経毒性学特論演習，生体機能分子動態学特別研究 等
大学院（博士課程）：生体機能分子動態学特別演習，生体機能分子動態学特別研究 等

この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学事業も担当することがあります。

7. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
(1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。
(2) 博士課程の論文指導を担当できること。
(3) 英語による教育・研究指導ができること。

8. 応募書類 (1) 推薦状（自薦も可） 様式任意
(2) 履歴書 Form 1, Form 2
(3) 業績目録 Form 3
(4) 主要業績要旨 様式任意
（主要業績5編の要旨について、それぞれ日本語（約400字）又は英語（約200語）で記入）
(5) 薬学教育・研究に対する抱負と中長期計画 様式任意
（薬学教育・研究に対する抱負及び薬学分野に対してどのように貢献するか（中長期計画）について、日本語（約2,000字）又は英語（約1,000語）で記入）
(6) 主要論文5編の別刷（コピー可） 各1部

※応募書類の様式は、以下の URL からダウンロードし、日本語又は英語で作成してください。

<http://hiroshima-u.jp/employment/kyoinkobo/bhs>

9. 応募期限 2020年8月31日（月）17:00必着【日本標準時】

10. 応募書類送付先 〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号
広島大学霞地区運営支援部総務グループ（人事担当）
※応募書類は、書留又は簡易書留で郵送し、封筒の表に「生体機能分子動態学・助教応募書類在中」と朱書きしてください。
※応募書類のうち、履歴書（Form 1, Form2）、業績目録（Form 3）はExcel形式で電子媒体（CD-R, USBメモリ等）に保存のうえ、併せて提出してください。
※応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。

11. 選考方法 (1) 書類審査
(2) 書類審査通過者に対して、必要に応じて面接を行うため、来学を願うことがあります。面接を行う場合は、原則として、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会

基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

12. 勤務形態 (1) 勤務時間 8:30～17:00（月～金）、休憩時間 12:00～12:45
専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分、1週間38時間45分働いたものとみなされます。
(2) 勤務日は、原則として月曜日から金曜日（祝日を除く。）です。
(3) 休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。
13. 給与等 (1) 採用となった方には、年俸制（2020年4月施行の新制度）が適用されます。
(2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。
14. 評価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
15. 募集者名 国立大学法人広島大学
16. その他 (1) 試用期間：あり（6月間）
(2) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
(3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
(4) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下のURLに掲載しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/bhs>
(5) 広島大学では本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。
求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
(6) 本学は、世界ランキングトップ100に向けた本学の中長期的な成長を目指し、優れた研究人材の確保・育成を図るとともに、教員の年齢別構成の改善を図るため特に若手教員、女性教員及び外国人教員等の活躍の場を全学的に拡大し、教育研究を活性化していく予定です。このことを踏まえ、今回の公募は若手研究者の応募を希望します。
17. 問い合わせ先 広島大学大学院医系科学研究科 教授 古武 弥一郎
TEL: 082-257-5325
E-mail: yaichiro [at]hiroshima-u.ac.jp
※[at]は@に置き換えてください。